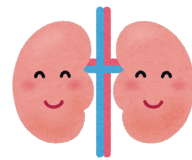


第40回 CKD・腎移植に関する勉強会 腎代替療法選択 (RRT) 支援の実際 (再療法選択支援)

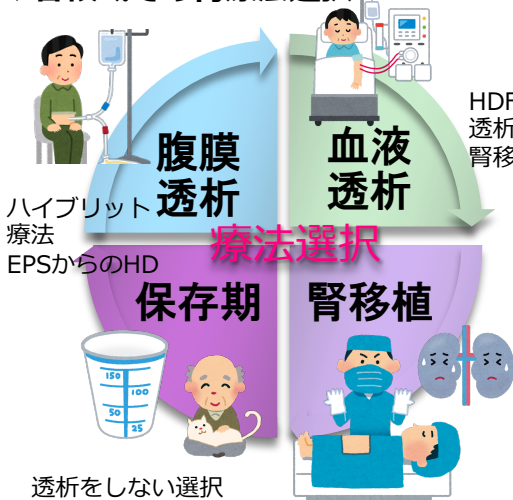


～腎代替療法～

CKDステージG3b~5患者のための腎障害進展予防とスムーズな腎代替療法への移行に向けた診療ガイドライン 2015

各治療手段に関する長所と短所について、患者個人のみならず家族も同席の上で説明し、十分な説明の上で治療選択が行えるように倫理・心理的・社会的ケアを行いつつ必要な情報提供を行うことが望ましい。

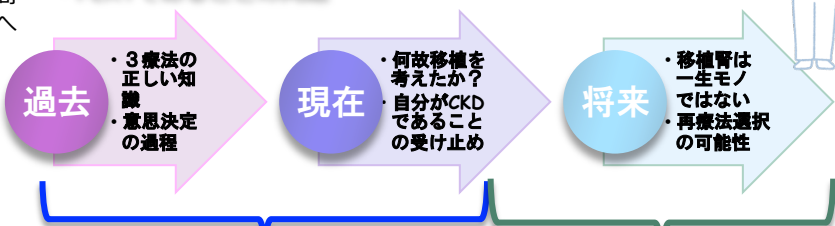
◆各領域での再療法選択



◆RTCのファーストタッチ (移植外来初診) では

- どんな療法選択をしてきたのか? (療法選択提示や情報提供)
- 何故今、移植を希望するのか? (動機、CKDである自分)
- 再び再療法選択の機会が訪れる可能性と心構え (CKD人生)

Np. PEKTであることの問題



患者背景・施設状況

「維持透析期の患者の課題は、透析を含む新しい生活のなかで、自分の立場や価値をもう一度作り上げていくことである」
深川直史 臨床透析 vol.24 no. 10 2008 13・1367

First Touchの時点から
RTCが確認し情報提供する範囲
→次世代のCoにつなぐ支援

「治療選択支援は患者の生活の質(QOL)の維持・向上を支援することである」
小江奈美子「末期腎不全患者への治療選択とその支援」CKD患者の療養指導ガイド

- * 自己管理の動機づけ
- * 困難に立ち向かう強い心
- * 信頼関係

◆透析再導入期の療法選択

Nephrol Dial Transplant.2008;23(2):693-700.
Nephrol Dial Transplant.2012;27(7):2913-2921.

Np

CKD-Tの方がESRD進展が遅い

進行がゆっくり、悪化し始めると早い

移植腎の管理が中心で

CKD管理がおろそかになりがち

Np

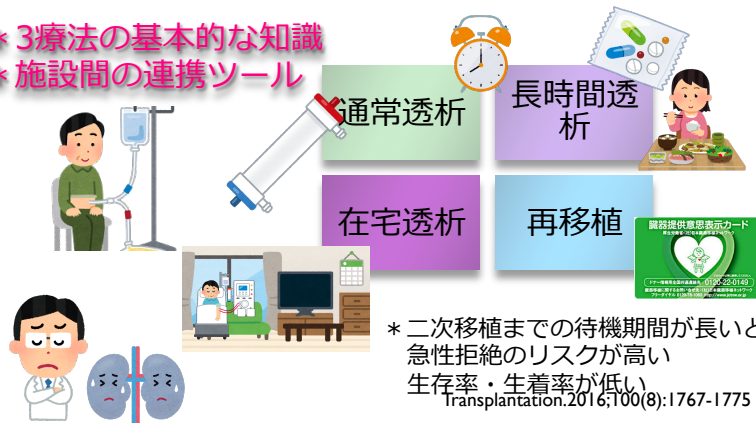
再導入の時期

導入時eGFRによって予後に差はない

通常の透析導入と同様、**総合的判断が必要**

◆移植腎廃絶時の再療法選択

- * 3療法の基本的な知識
- * 施設間の連携ツール



◆医師と看護師2つの立場の選択提示 「移植腎」 or 「CKD人生」

Shared Decision Making (シェアード・ディシジョン・メイキング) 協働的意思決定

- * 幅広い情報提供
 - * 何を大事に思っているか
 - * 積極的参加
 - * 共に決定していく姿勢
- 治療を選択して開始することが目標ではなく個々の患者の人生の質をあげる



- ◎ 信頼関係
- ◎ タイミング
- ◎ 看護の視点

CKD total care

Np

療法選択時に「CKD人生」をあらためて考える